
高速道路の積雪や路面状況などの「雪氷情報」を 地上デジタルデータ放送で提供開始

東海エリアの高速道路に関する「雪氷情報」の提供は、データ放送では初。
冬季に役立つドライバー向け情報が、データ放送で簡単取得！

メ〜テレ（代表取締役社長 堀 鐵藏）は、1月28日正午より、地上デジタル放送において、東海および近隣エリアの高速道路に関する積雪や凍結などの路面状態情報・各種作業情報といった「道路雪氷情報」を、データ放送を通じてドライバー向けに提供する実証運用を開始した。

データ放送における本運用は、株式会社ウェザーニューズ（代表取締役社長 草開 千仁）と共同で開発したもので、東海エリア初となる試み。視聴者・ドライバーにわかりやすい形式での情報提供を行う。

(1) 高速道路情報における雪氷情報ニーズ

メ〜テレが放送サービスを行う東海エリアは、高速道路交通網が発達している。これらの交通網は、東海エリア内での流通・移動手段の中心としての機能はもちろん、関東圏と関西圏、北陸・甲信越圏を結ぶ動脈路としても、非常に重要な役割を果たしている。

いっぽうでこのエリアの高速道路は、冬季における積雪や、気温低下による路面凍結などの影響を比較的受けやすい特性がある。高速道路に関する「雪氷情報」と、それに伴う「規制・作業情報」は、各種流通や高速道路を利用した移動手段の選択を大きく左右する「高いニーズを持った」重要情報であるといえる。

(2) データ放送での対応

メ〜テレのデータ放送では、エリアにおける高速道路情報への高いニーズに早くから着目し、エリア内高速道路についての「渋滞・規制情報」の提供を行ってきた（下図参照）。



<メ〜テレデータ放送 高速道路渋滞・規制情報>

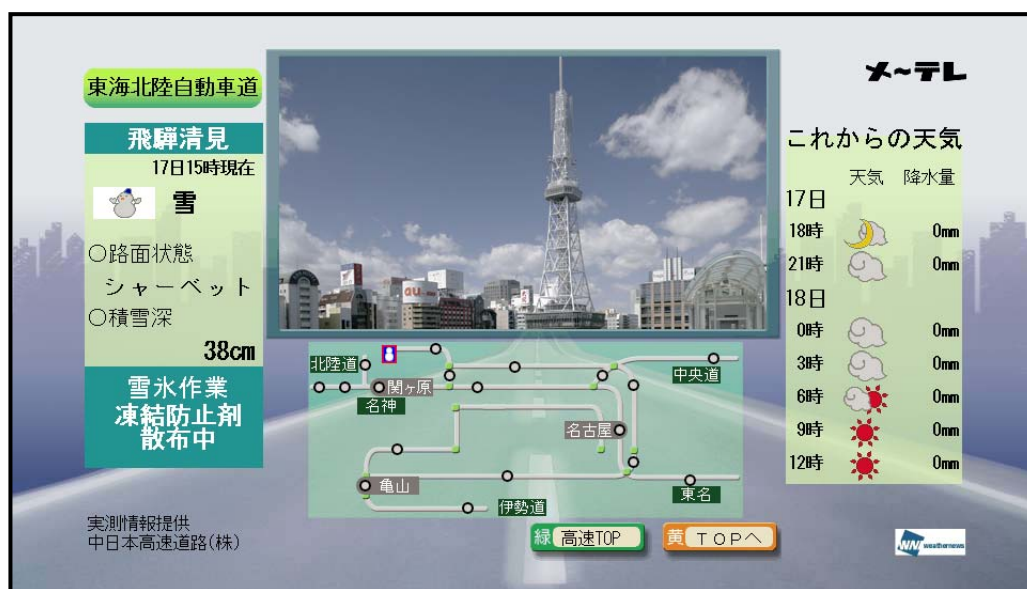
その後、高速道路情報のさらなる充実を目指し、上述のエリア特性や視聴者ニーズを検討した結果、冬季における高速道路「雪氷情報」のデータ放送での実証運用を決定。ウェザーニューズ社と共同でコンテンツ開発を行うこととなった。

冬季の高速道路ユーザーにとって「雪氷情報」は安全面からも、利便性の観点からも重要な情報である。本運用にあたっては、視聴者・ドライバー目線にたった運用を考慮、身近なメディアとして普及が進む地上デジタル放送のデータ放送を通じて提供する本実証運用で得られた結果を元に、今後のコンテンツ修正を行い、更なる充実と発展を図っていく。

(3) 今後の展開

データ放送における高速道路情報は、今後も拡充の方向である。今回の「雪氷情報」の対応開始に続き、12セグ（固定受信）側では高速道路上の気象観測ポイントの情報を基にした「道路気象情報」の追加運用を検討中である。また、急速に普及が進む「ワンセグ」においては、「規制・渋滞情報」の運用を検討しており、徐々に「12セグなみ」ラインアップへ近づけていく方向である。

メ〜テレでは、今回の実証運用を通じて得られた結果から表示方法などにも工夫を重ね、エリア視聴者に、地上デジタル放送の特性を生かした、より充実した放送サービスを行っていきたいと考えている。



< 高速道路雪氷情報 データ放送画面イメージ >

この件に関するお問い合わせは、以下までお願いします。

<お問い合わせ先>

メ〜テレ（名古屋テレビ放送 <http://www.nagoyatv.com/>）

【デジタル事業部】 福嶋 更一郎 古賀 健介 西川 雅巳 大沢 祐行

【社長室】 多湖 慎一

TEL : 052-331-8111（代表）

株式会社ウェザーニューズ <http://weathernews.com/jp/c/>

【広報】 森下 良治 陽田 有加

TEL : 043-274-5504